



中医協へパブリックコメント提出

平成18年度診療報酬改定「現時点での骨子」に対するパブリックコメントを投稿するよう日医を通じて医療施設、各科医会へ要望があり、これを受けて日耳鼻医会としても、先のFAXニュース110号に掲載された「医会の主張」を下線部分を追加して投稿することが、全理事会で決まり、27日に投稿した。

医会の主張

国民は安心と安全、そして良質の医療を求めており、財政優先の医療費削減は決して国民のためにはなりません。国民の健康を守るために日耳鼻医会は以下の事を主張致します。

- ・国民皆保険制度を堅持しよう
- ・高齢者の窓口負担増には反対する
- ・医療に対する十分な人員の配置を要望する
- ・標榜各科間の不公平の是正と耳鼻咽喉科医療技術の適正な評価を要望する
- ・医療従事者の生活を守るための医療経営に配慮されることを要望する 以下省略

平成18年度診療報酬改定骨子 (1月18日現在)

1. 診療報酬体系の簡素化について * 全体の簡素化
* 項目の名称を分かりやすくするための点検
* 老人点数表と医科点数表を一本化する方向に
2. 医療費の内容が分かる領収書の発行
* 医療機関に義務づける方向で検討
* 一定の経過措置を設ける
3. 患者の視点の重視 * 診療情報提供料評価引き下げ
* セカンドオピニオンを評価・検体検査を行い同日中に結果に基づき診療を行う場合の加算
4. 生活習慣病の重症化予防の評価
5. 手術に係わる評価 * 内視鏡手術の再評価 * 同一視野で2つ以上の手術を行った場合の算定法見直し
6. 医療機能の分化、連携の評価
7. 初再診に係わる評価 * 初診料は病院を引き上げ、診療所を引き下げ * 再診料は病院を引き下げ、診療所はそれ以上引き下げ * 外来診療料を引き下げ、HbA1c を包括から除外 * 紹介患者加算を廃止
8. リハビリテーションに係わる評価
9. その他
10. 小児医療に係わる評価 * 乳幼児加算は時間外、休日、深夜以外に算定。新たに、乳幼児時間外加算、乳幼児休日加算、乳幼児深夜加算(仮称)を算定 * 新生児・乳児に対する検査、処置などに係わる評価を引き上げ
11. 医療のIT化に係わる評価
12. 医療技術に係わる評価
13. コンタクトレンズに係わる診療の評価
14. 検査に係わる評価
15. その他 * 先発医薬品を記載した処方箋を交付した医師が後発品薬品に変更して差し支えない旨の意思表示を行いやすくするため、処方箋の様式を変更

櫻井日医副会長全理事会で講演 (1月22日)

1月22日の平成17年度第5回全理事会で日医副会長櫻井秀也先生に「最近の医療事情」と題してご講演頂いた。

診療報酬改定にたいして、医療の安全確保、医療の質の確保、小児医療・産科医療などへの対応の為に少なくとも3%以上の診療報酬の引き上げが必要であると、2005年10月日医は主張したことを説明、12月18日に全体改定率3.16%が決まったが、その中でのプラス項目、マイナス項目についての説明。特に、医療費の内容の分かる領収書の発行について、レセプトと同様の領収書の発行は意味があるのかと強く反対しているが、中医協での強硬な意見があり予断を許さないという事であった。

武見敬三参議院議員 平成17年度日耳鼻

保険医療委員会全国会議で講演 (1月29日)

武見敬三参議院議員は平成18年1月29日、東海大学学友会館で開催された平成17年度保険医療委員会全国会議で「医療政策決定のケース・スタディ」と題して講演した。政策決定にいたる、国民運動型成功例、ボトムアップ優勢例、トップダウン優勢例、など各パターンを事例を挙げて説明。保険者の再編・統合についても触れ、県毎に医療費適正化が行われ、サービスが違ってくる可能性があるとした。これからは厚労省だけでなく、総務省、財務省とも交渉しなければならず、その時に必要な事は徹底的な理論武装であり、力では負けても理屈で勝つ。理屈とは政策論争であり、それを、国民運動や署名運動と結びつけてゆかなければならないと述べた。

2006年度診療報酬改定 医療技術評価分科会 保険適用する優先度が高いとされる新規技術

(主申請団体 日本耳鼻咽喉科学会)

扁桃処置：急性扁桃炎等に対する局所消炎処置の評価。現行保険で評価されている腺窩洗浄などを含めて評価するもの
間接喉頭鏡下喉頭処置：現在保険で評価されている喉頭処置について間接喉頭鏡下に行うことを要件として評価を行うもの。なお、間接喉頭鏡検については廃止するもの
鼓室処置：現在保険で評価されている鼓室洗浄を含めて、鼓室処置として鼓膜に穿孔のある中耳炎に対する処置を評価するもの

プロスタグランジンD₂-トロンボキサンA₂受容体拮抗剤
アレルギー性鼻炎治療剤



バイナス錠

50mg #75mg Bayermax (プロトロンボキサンの商品名)

用法・用量、用法・用量、用法・用量に関する詳細情報は、
添付文書か医師の指示に従って、医師の処方箋を
ご参照下さい。

※本剤の小児薬には安全性が確認できていないため、
（医師の処方による）

バイナス錠株式会社
http://www.baymax.co.jp

Bayer HealthCare

(2006年製薬)